

世界で通用する知識を学ぶ国関

国際関係学部1期生(3回生)の学び

国際関係学部を選んだきっかけ

国際関係学部の「英語はツール、英語で学ぶ」というフレーズに可能性を感じ、英語だけでなく知識においても世界で通用する人になりたいと思った事がきっかけです。また、ずっと留学がしたかった私にとって、必修に海外フィールド・リサーチがある事もとても魅力的でした。

大学生生活について

○雰囲気

自分の軸をしっかり持つ学生が多いと思います。みんな意識を持って物事に取り組むので、学生同士で高め合う事ができます。また先生方は、その軸や意欲を尊重してくれ、人間的にもさらに成長させてくれる存在です。

○両立

私はサークルとアルバイトもしていたのでできると思います。空き時間などを見直し考えて行動すれば案外時間は確保できます！

○しておいた方がいいこと

資格までとは言いませんが、パソコンの基本的なスキル（power pointやwordなど）はあった方がいいと思いました。私自身そのスキルが乏しく、課題などで時間がかかる事がよくありました...



海外Field Research

研修先：ニュージーランド
(マセイ)

マセイ大学では、環境やその保護について学びました。ニュージーランドの自然豊かな所や現地の人々の気さくな人柄は、自然や生き物の大切さ、人との温かみを感じる事ができました。沢山のアクティビティもあり、学習と遊びで充実していました。



ゼミの研究テーマ

「持続可能性をめぐる
グローバル・ガバナンス」
(井口ゼミ)

○問題となってる事

環境、貧困、人権、教育など全ての問題

○問題の背景

これらの問題の根源は、人間の欲望は無限だが地球の資源は有限であるということにある

○論点

地球のあらゆる豊かさを、これからもずっと享受できるように守っていく為にはどうするのか